

本事業の概要と目的

- 専門学校教職員を対象としたFDとSDにおける履修証明書の発行も可能な体系的研修プログラムの構築方法をパッケージ化し、実用化
- パッケージ化の対象
 - ① 基本項目
 - ② 学修時間・内容
 - ③ カリキュラム・講義・学習方法
 - ④ 評価
 - ⑤ 運営
 - ⑥ 広報・その他
- 1年目は「汎用的」で一般的な教育系の大学、2年目は「汎用的」であるが専門職教育を行っている教育機関、3年目は「専門的」な内容

■ FD・SD講座の建付け

- FD・SDの趣旨に叶う講座を展開する。
- 令和2年度は、令和元年度の実績を踏まえ、一般的な教育系の大学が開発者となって、専門職高等教育機関として汎用的な内容の講座を開発し、17名の修了を見るなどの実績を挙げた…下表の①
- 令和3年度、同4年度では、この経験を活かし、
 専門職教育を行っている教育機関が汎用的な講座を開発する事例…下表の②
 専門職教育を行っている教育機関が専門的な講座を開発する事例…下表の③
 を重ね、FD・SDの領域全般をカバーし、同様の趣旨の講座開発を推進する。
- 令和3年度は、ハリウッド大学院大学に委託して、美容教育マネジメントの履修証明プログラムの開発に取り組んだ。

	一般的な教育系の大学	専門職教育を行っている教育機関
	① 実施済	② 実施中
汎用的	R02年度開発 星槎大学大学院教育実践研究科 専門職教育支援士 (教育実践 部門)	R03年度開発 ハリウッド大学院大学 専門職教育マネジメント (美容 部門)
専門的		R04年度開発 ?????????? ?????????? (???部門)

専門職教育マネジメント（美容） 履修証明プログラム

受講案内

この文書は、本プログラムの受講を検討される方を対象に作られたものです。プログラムの目的や概要、科目構成、学修方法などの情報を記載しています。検討のための資料としてご活用ください。

令和3年10月1日
ハリウッド大学院大学

「専門職教育マネジメント（美容）」履修証明プログラム

● はじめに

- このプログラムは、専修学校等の専門職高等教育機関で活動する教職員を対象としたFD・SDプログラムとしての履修証明プログラムです。
- 履修証明制度は学校教育法第105条の規定に基づき、所定の要件を満たした教育プログラムの修了者に対して、高等教育機関が履修証明書を発行することを認める制度です。このプログラムの修了者には、ハリウッド大学院大学が履修証明書を発行いたします。

● 三つのポリシー

- ディプロマ・ポリシー**
教育理念を学校経営に反映できる経営能力を開発し、FD・SDの教育成果を経営成果に展開させるためのマネジメント能力を開発する。
- カリキュラム・ポリシー**
ディプロマ・ポリシーを達成するために、「学修成果マネジメント」、「経営理念マネジメント」、「勤務姿勢マネジメント」の3群の科目群を構成する。
- アドミッション・ポリシー**
美容分野の教育経験を1年以上持った、あるいは、同分野の職員としての経験を1年以上持ったことがあることに受講を薦める。

● 目的

- 主として、専門職高等教育機関の教職員を対象として、**専門職教育マネジメント（美容）**の資質能力の向上を目的としています。

● スケジュール

● 開講スケジュール

- ✓ 開講日 **令和3年10月15日**
- 閉講日 **令和4年4月15日**
- ✓ 学修時間 **60時間**

● 学習方法

- リアルタイム授業**で実施します。
- リアルタイム授業（45時間）**
 - ✓ 所定の日時に、講師と受講者が一堂に会したオンライン受講も含まれます。
 - ✓ 授業の様子は録画してオンライン学習基盤で発信し、それを受講した者も授業に参加したものとしてみなします。
- 修得レポート課題等**に取り組む時間（15時間）

● 成績評価と修了要件

- 出席をとります（Zoomの場合も、**ミーティングの参加の有無**）。
- 各科目に**修得レポート課題**があります。提示する課題に解答する（オンライン上で）形式で実施します。**課題の提出は必須の修了要件**です。
- 科目ごとに、**出席率と修得レポート課題の結果**をもとに総合的な評価を行い、**すべての科目で合格と評価される**ことを修了要件とします。

● その他

- 定員は10名+若干名です。

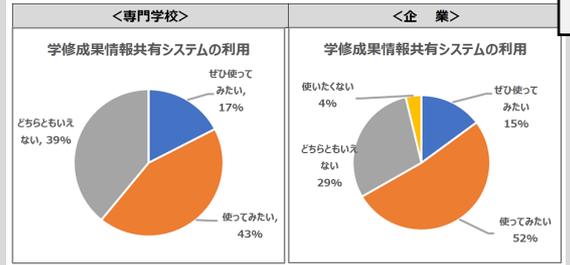
● カリキュラムとスケジュール

区分		日付		講師	学修時間
					ハイブリッド
A	概論	A1	MDプログラムと資格枠組	QAPHE 江島	3
B	学修成果マネジメント	B1	学修成果指標（美容分野）	QAPHE 江島	3
		B2	ビューティビジネスの国際化	山中学長 寺本義也 蒲生茂	3
C	経営理念マネジメント	C1	経営観、宇宙観、人間観、人生観、宗教観、死生観など	PHP研究所 大江	3
		C2	経営理念研究	元PHP研究所 佐藤	3
		C3	日本的経営論 ～経営の美学～	(株)日本生物科学社長 執行	3
		C4	中小企業の経営マネジメント	高岡法科大学元学長 根田	3
		C5	企業を永続的に発展させる理念経営	アチーブメント社長 青木	3
		C6	仕事を通じて生きることの大切さ（誇りと理念）	麒麟ビール元副社長 田村	3
D	勤務姿勢マネジメント	D1	歌舞伎における美	中村 獅童	3
		D2	サービス産業の発展に向けて	帝国ホテル特別顧問 小林	3
		D3	グローバルビジネスマインド	メイ・ウシヤマ学園 眞野	3
		D4	ホスピタリティとビジネスマナーの必要性	メイ・ウシヤマ学園 眞野	3
		D5	ホスピタリティ・マネジメント	メイ・ウシヤマ学園 玉利	3
E	まとめ	E1	国家戦略特区と外国人美容師	山中学長	3

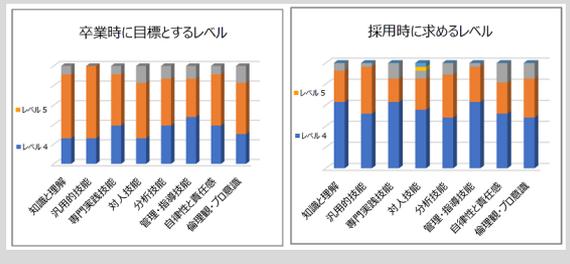
学校評価の充実等を目的とした資格枠組の共有化・職業分野別展開とその有用性の検証

【令和2年度事業】

- 学修成果情報共有システムニーズ調査
 - ・ 否定的な意見はほとんどない。ただし、実物がないので懐疑的



- 企業側はレベル高い人材を求める



学修成果情報共有システムの開発

【令和3年度事業】

- 学修成果指標 (美容)
- 学修成果指標 (ゲーム・CG)
- 学修成果指標 (動物)
- 学修成果指標 (土木・建築)

反映

参照・開発

国際シンポジウム

本事業の概要と目的

- 国際通用性のある「資格枠組のレベル定義」を策定し学校評価の充実等に結び付ける
- 「資格枠組のレベル定義」に沿った学修成果指標の策定と適用方法の研究
- 学修成果情報共有システムの開発・運用による学修成果マネジメントの方法論の提案

QAPHE国際シンポジウム2022
科学技術革新に貢献する専門職高等教育



2022/1/27実施

- 【令和4年度事業】
- 学修成果情報共有システムの完成とその試行
 - 同システムの普及・促進による効果測定
 - 同システムの普及・側隠に向けたセミナーの実施



QAPHE 国際シンポジウム 2022 「科学技術革新に貢献する専門職高等教育」

日時・場所 2022年1月27日（木）13:00～17:50
ハリウッド大学院大学 11F（受付）（東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ）

プログラム（日英同時通訳）

- 13:00～13:30 開会挨拶「日本の生産性向上に貢献する専門職高等教育」
川口昭彦（一般社団法人専門職高等教育質保証機構 代表理事）
- 13:30～14:20 基調講演Ⅰ「台湾における高等教育質保証システム — 科学技術・職業教育へのアプローチ」（オンライン参加）
容 継業（社団法人台湾評鑑協会 理事長）
- 14:20～14:50 基調講演Ⅱ「日本の高等教育機関における専門職人材育成の現状」
小林光俊（学校法人敬心学園 東京保健医療専門職大学 理事長）
- 14:50～15:20 基調講演Ⅲ「日本のプロフェッショナル人材育成はどうあるべきか — 米国FITに学ぶ」
尾原蓉子（一般社団法人ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション 名誉会長）
- 15:20～15:40 休 憩
- 15:40～16:10 講演「専門学校における職業教育のマネジメント」
船木茂人（文部科学省総合教育政策局 生涯学習推進課専修学校教育振興室 専門官）
- 16:10～17:40 パネルディスカッション（国内パネリストを交えた意見交換、会場からの質疑応答、総括討論等）
容 継業（社団法人台湾評鑑協会 理事長）（オンライン参加）
小林光俊（学校法人敬心学園 東京保健医療専門職大学 理事長）
尾原蓉子（一般社団法人ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション 名誉会長）
船木茂人（文部科学省総合教育政策局 生涯学習推進課専門官）
山中祥弘（学校法人メイ・ウシヤマ学園 ハリウッド大学院大学 理事長・学長）
ファシリテーター：川口昭彦（一般社団法人専門職高等教育質保証機構 代表理事）
- 17:40～17:50 閉会挨拶
外山公美（一般社団法人専門職高等教育質保証機構 事務局）

文部科学省「令和3年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業」の支援により開催



QAPHE International Symposium 2022 “Professional Higher Education Contributing to Technological Innovation”

Date: 13:00-17:50, Thursday, January 27th, 2022
Venue: Hollywood Graduate University (6-4-1 Roppongi, Minato-ku, Tokyo)

Program (Japanese-English simultaneous interpretation):

- 13:00-13:30 Opening Address “Japan’s Professional Higher Education Contributing to Productivity Improvement”
Akihiko Kawaguchi, Representative Director, Institution for Accreditation and Quality Assurance of Professional Higher Education (QAPHE)
- 13:30-14:20 Keynote Speech I “Quality Assurance System of Higher Education in Taiwan – Approaches to Technical and Vocational Education” (to be delivered online)
Jimmy C.Y. Yung, Chairman, Taiwan Assessment and Evaluation Association (TWAEA)
- 14:20-14:50 Keynote Speech II “Current Status of Professional Development in Japanese Higher Education Institutions”
Mitsutoshi Kobayashi, Chairman, Tokyo Professional University of Health Sciences, Keishin Group
- 14:50-15:20 Keynote Speech III “How Japan Can Provide Professional Development – Learning from the Fashion Institute of Technology (FIT) in the United States”
Yoko Ohara, Chairperson Emeritus, Women’s Empowerment in Fashion (WEF)
- 15:20-15:40 Break
- 15:40-16:10 Speech “Vocational Education Management by Vocational Schools”
Shigeto Funaki, Senior Specialist, Office for the Promotion of Specialized Training College Education, Lifelong Learning Promotion Division, Education Policy Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)
- 16:10-17:40 Panel Discussion (opinion exchange with panelists in Japan, audience Q&A, wrap-up discussion)
Panelists:
Jimmy C.Y. Yung, Chairman, Taiwan Assessment and Evaluation Association (TWAEA) (participating online)
Mitsutoshi Kobayashi, Chairman, Tokyo Professional University of Health Sciences, Keishin Group
Yoko Ohara, Chairperson Emeritus, Women’s Empowerment in Fashion (WEF)
Shigeto Funaki, Senior Specialist, Office for the Promotion of Specialized Training College Education, Lifelong Learning Promotion Division, Education Policy Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)
Yoshihiro Yamanaka, Chairman, May Ushiyama Academy and President, Hollywood Graduate School of Beauty Business
Facilitator: **Akihiko Kawaguchi**, Representative Director, Institution for Accreditation and Quality Assurance of Professional Higher Education (QAPHE)
- 17:40-17:50 Closing Remarks
Kimiyoishi Toyama, Secretary, Institution for Accreditation and Quality Assurance of Professional Higher Education (QAPHE)

The QAPHE International Symposium is held with the support of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology’s “FY2021 Project Aimed at Promoting the Quality Assurance and Improvement of Vocational Schools through Professional Training Programs.”

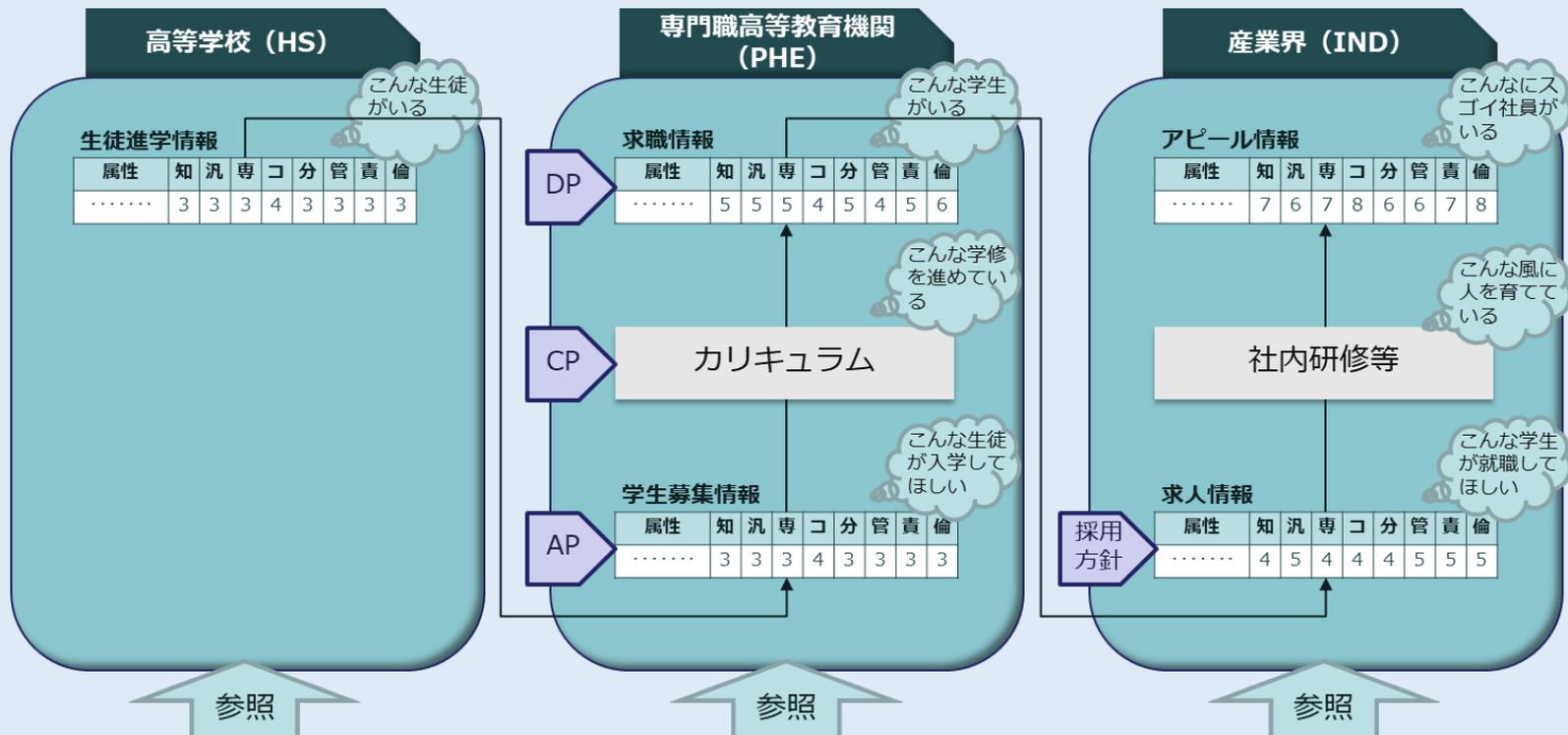
● 改良・普及・促進・活用の段階へ

- ✓ 最大の特徴はすべて「資格枠組のレベル定義」「学修成果指標」でレベル評価をすること
- ✓ 高等学校、専門職高等教育機関、産業界（企業）が情報を共有し連携・接続システム
- ✓ データベースシステムを構築しないと意味がないが、ガチガチの設計とまではしない（将来的な自由度を考慮）
- ✓ それぞれの立場のニーズに合ったシステム
 - ・ 高等学校の立場…「信頼できる情報」の取得
 - ・ 専門学校/専門学校の立場…よい就職先とのつながり（良質な企業連携）、志を持った学生の募集
 - ・ 産業界の立場…有能な人材の確保

※「JAPAN e-Portfolio」のように、高等学校の教員や生徒に操作を半ば強要する仕組みは現場に負担をかけるだけ。個人情報の管理にも不安。1レコードがある人物で、その履歴を継続的に管理できるeポートフォリオは、理想的であるが、現実的でない。

コンピテンシー事業 情報システムイメージ

<ul style="list-style-type: none"> ✓ QAPHE ✓ NIC ✓ リクルート ✓ 専門学校団体 ✓ 高等学校団体 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美容 ✓ ゲーム・CG ✓ 動物 ✓ 土木・建築
---	---



「資格枠組のレベル定義」、職業分野-職種別「学修成果指標」

学修成果情報共有システムの開発

- OSSであるmaharaの転用
 - ・ 昨年度事業においても検討
 - ・ 機能の豊富さにおいて定番
 - ・ 分科会においてデモを繰り返し実施
- 機能の豊富さが導入ネックとなる可能性の存在
 - ・ 入力に膨大な時間
 - ・ 年に2回程度の操作であっても
 - ・ 日常的に操作する必要性も大きい
 - ・ **学修成果指標**を活かす考え方



- 学修成果測定シートとの併用
 - ・ 令和元年度事業で使用したものに改善を加えたもの
 - ・ ファイル添付の形で送信可能
 - ・ 日常的には測定シートによって自己管理
 - ・ 教員との間のインタフェースはキープできる
 - ・ 令和4年度事業において実証予定



4 学修成果測定シート 動物分野 - 認定動物看護師職種

測定基準: 測定日付 (yyyy/mm/dd):

区分	測定項目	補足説明	評価					測定者 フリーコメント
			A	B	C	D	E	
知識と理解	動物生命機能: 動物の体の構造と機能			1				
	動物行動: 人と動物の関わり、関わること			1				
	人と動物の関わり: 人と動物の関わり、関わること				1			
知識と理解	動物生命機能: 動物の体の構造と機能			1				
	動物行動: 人と動物の関わり、関わること				1			
	人と動物の関わり: 人と動物の関わり、関わること					1		

アップロードして提出

日常的に学生が管理

令和3年度 ポートレート事業 成果の概要

職業実践専門課程版ポートレートの構築 (ポートレート事業)

本事業の概要と目的

- 職業実践専門課程の情報公開ニーズに合わせたデータベースシステムの開発
- 専門学校に関わるステークホルダーの利便性向上 (利用者側のメリット)
- 職業実践専門課程認定校としてのデータエントリーの一本化 (認定校側のメリット)

【令和3年度事業】

【令和4年度事業】

① 横断分析を可能とする機能設計の強化

② ポートレートデータの入力促進

③ 普及のための動画コンテンツ開発

比較除外	除外	除外
学科概要		
年度	2019	2019
設置者名	学校法人山口学園	学校法人三友学園
学校名	ECCコンピュータ専門学校	専門学校岡山情報ビジネス学院
学科名	高度情報処理研究科ゲーム開発エキスパートコースゲームCG専攻	情報スペシャリスト学科
分野	工業	工業
認定課程名	工業専門課程	工業専門課程
認定年月日	2014年03月31日	2016年02月19日
専門士	-	平成16年文部科学省告示第23号
高度専門士	平成22年文部科学省告示第156号	
学科の目的	IT及びゲーム業界で必要とされるソフトウェア開発技術、知識及びチーム協力の意識教育を通じて高度な技術	日々化する情報処理業界で活躍するために必要となる、実践的かつ専門的知識の習得教育を通じて高度な技術

異なる学校の情報を並べて比較できる

北海道	学校法人西野学園	熊本県	医療法人弘仁会
北海道	学校法人吉田学園	鹿児島県	学校法人原田学園
北海道	学校法人美寿学園	鹿児島県	学校法人南学園
青森県	学校法人青森田中国学	沖縄県	学校法人KBC学園

およそ1,000×2年度分データ入力

【令和2年度事業】

- ① 要件定義
- ② 初期開発
- ③ 多言語化
- ④ NIC連携 (構想)
- ⑤ 時系列分析

ポートレートシステム操作ガイド
<https://portraits.qaphe.com/>

検索	A1 全体編	管理者	
B1	対象決定 790689	C1	ログイン 59539
B2	一般機能 179148	C2	設置者編集 89398
B3	学科比較機能 109428	C3	学校編集 59428
		C4	学科編集① 99088
		C5	学科編集② 49308
		C6	学科編集③ 69508
		C7	学科編集④ 29348

C3
管理者・学校編集

令和3年度文部科学省委託事業
職業実践専門課程版ポートレートの構築 (ポートレート事業)

一般社団法人専門職高等教育質保証機構

操作方法に関する説明動画コンテンツ

職業実践専門課程ポートレート学校一覧

学校コード	学校名	所在地	設置者	学科	認定	専修	高度	専修	高度	専修	高度
01	ECCコンピュータ専門学校	山口県	ECCコンピュータ専門学校	高度情報処理研究科ゲーム開発エキスパートコースゲームCG専攻	○	○	○	○	○	○	○
02	専門学校岡山情報ビジネス学院	岡山県	専門学校岡山情報ビジネス学院	情報スペシャリスト学科	○	○	○	○	○	○	○
03	学校法人西野学園	北海道	学校法人西野学園		○	○	○	○	○	○	○
04	学校法人吉田学園	北海道	学校法人吉田学園		○	○	○	○	○	○	○
05	学校法人美寿学園	北海道	学校法人美寿学園		○	○	○	○	○	○	○
06	学校法人青森田中国学	青森県	学校法人青森田中国学		○	○	○	○	○	○	○
07	医療法人弘仁会	熊本県	医療法人弘仁会		○	○	○	○	○	○	○
08	学校法人原田学園	鹿児島県	学校法人原田学園		○	○	○	○	○	○	○
09	学校法人南学園	鹿児島県	学校法人南学園		○	○	○	○	○	○	○
10	学校法人KBC学園	沖縄県	学校法人KBC学園		○	○	○	○	○	○	○

● 比較対象の決定

- 「学科検索」でチェックボックス指定



The screenshot shows the QAPHE website interface. On the left, the search results for Osaka Prefecture (大阪府) are shown, with 'ECCコンピュータ専門学校' selected. A red box highlights the checked checkbox for '高度情報処理研究科ゲーム開発エキスパートコース ゲームCG専攻'. On the right, the search results for Tokyo (東京都) are shown, with '日本工学院専門学校' selected. A red box highlights the checked checkbox for 'ゲームクリエイター科'. In the center, the '職業実践専門課程ポートレート学科基本情報比較' (Comparison of Basic Information of Professional Practice Specialized Course Portfolio Discipline) page is displayed. The page shows a comparison between two courses: '高度情報処理研究科ゲーム開発エキスパートコース ゲームCG専攻' (ECC) and 'ゲームクリエイター科' (Nissen). The comparison table is as follows:

項目	高度情報処理研究科ゲーム開発エキスパートコース ゲームCG専攻	ゲームクリエイター科
比較除外	除外	除外
学科概要		
年度	2019	2019
設置者名	学校法人山口学園	学校法人片柳学園
学校名	ECCコンピュータ専門学校	日本工学院専門学校
学科名	高度情報処理研究科ゲーム開発エキスパートコースゲームCG専攻	ゲームクリエイター科
分野	工業	工業
認定課程名	工業専門課程	工業専門課程
認定年月日	2014年03月31日	2015年02月17日
専門士	-	平成21年文部科学大臣告示第22号
高度専門士	平成22年文部科学省告示第156号	-
学科の目的	IT及びゲーム業界で必要とされるソフトウェア開発技術、知識及びチームワークの実践教育を通じて高度な技術	コンピュータエンターテインメントとしてのゲーム開発に必要な技術の習得。プログラミング技術、ゲームの

- 「学科比較」ボタンをクリックすると、「職業実践専門課程ポートレート学科基本情報比較」画面が表示される

● 「職業実践専門課程ポートレート学科基本情報比較」画面

- 比較対象として決定した学科について、横並びで表示
- タブに相当するリンクをクリックすれば、
「基本情報比較」→「生徒・教員比較」→「学修成果比較」→・・・→「授業科目比較」がしやすい
- 比較対象は2つ以上も可能
→画面の幅が足りなくなれば、1行に表示する文字数を減らす

②ポートレートデータの入力促進

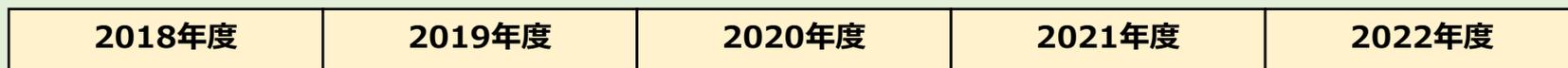
● データの充実

- たくさんあるほうが、圧倒的かつ本番へ移行しやすい

年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
項目				
設置者数	5	9	31	98
学校数	5	12	38	164
学科数	29	75	221	934

2019年度は、2021年7月1日～2022年3月20日の入力数。年度末には学科数で1,000を超える見通し

- 事業開始当初のデータは2019年度が最新



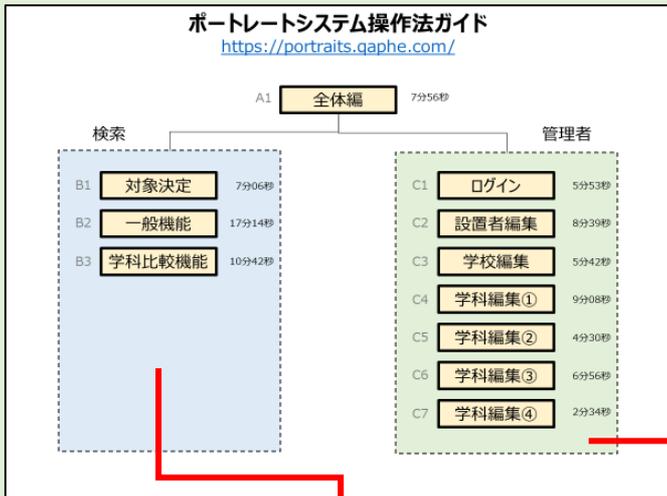
↓
2019年度の職業実践
専門課程の基本情報
は、2020年9月末ま
でには公開される

↓
本事業開始時点＝
2021年7月時点で
は、2019年度の
データが最新。そ
れらを保存してお
き、分担して担当

③普及のための動画コンテンツ開発

● 説明には動画が必須

<https://qaphe.com/mext/mext2021/portrait2021/portrait2021result/>



ポートレートシステム画面操作説明 (検索編)
<https://portraits.qaphe.com/>

どなたでもアクセス可能です。

ポートレートシステム画面操作説明 (管理者編・体系図)
<https://portraits.qaphe.com/manage/login>

操作にはログインアカウントが必要です。

設置者

設置者名、設立年月日、代表者名、…
 (他、設置者が決める学校の特性)

学校

学校名、設置認可年月日、校長名、…
 (他、学校が決める学科の特性)

学科

修業年限、履修時間、定員、教員数、定員数、中退者数、卒業者数、就職先、受賞歴、学校評価、…

職業実践専門課程の基本情報

● データの更なる充実

- ・ 年度当初までに1,000課程
- ・ 2020～2021年度のデータ
- ・ NICシステムからのリンク実現

● セミナーの実施

- ・ 2022年9月ごろ
- ・ 講演者の設定
- ・ ポートレート参加者を募る

● 意見聴取

- ・ 文部科学省のご意見
- ・ 参加者のご意見
- ・ 第三者のご意見

● マニュアルの充実

- ・ 説明動画の充実
- ・ マニュアルの充実
- ・ 活用局面の提供

● 運用体制の準備

- ・ 多言語化の保守体制
- ・ 質問対応体制
- ・ データ入力体制

● 文部科学省のご承認

- ・ 職業実践専門課程の基本情報を本ポートレートシステムで入力することも可とする方向

